

生産哲学・倫理部会企画 令和7年度第3回研究会

テーマ：IoT/AI などデジタル技術によるモノづくり・働き方の変化

令和7年10月30日（木）15:00-17:00

1. はじめに

モノづくりは、How toではなく、生産哲学、生産倫理から始まります。これは生産原論専門委員会が大事にしてきた考えの一つです。昨今発展がめざましいIoT/AIと、モノづくりにおいて、デジタル世界+現実の世界+人間といった融合が大変重要な課題の一つだと思われます。そこで今回の研究会では、関連ソフト開発会社で役員を務められる本専門委員会会員の竹村大助氏に、IoT/AIなどデジタル技術がどのように製造業における働き方を変革しているかを解説頂きます。またモノづくりにおける効率化、自動化、データ駆動型意思決定がもたらす新たな価値創出、AIの倫理課題についてもご講演頂きました。

2. 研究会の概要

10月30日(木) 15時00分から、埼玉大学東京ステーションカレッジにてハイブリッド形式で開催しました。当委員会と協賛団体を含め12名の参加がありました。研究会後には講師を囲み、秋葉原駅近郊で技術交流会を行い、議論と懇親を深めることができました。

3. 講演内容

講演テーマ 「IoT/AI などデジタル技術によるモノづくり・働き方の変化」

NSW 株式会社 取締役 執行役員専務
竹村 大助 氏

竹村氏には、IoTやAIといったデジタル技術が製造業における働き方などに与える影響を、具体的事例を交えて詳述頂きました。これにより、デジタル技術が私たちの生活や仕事の変革にどのように寄与しているか理解を深めることができました。また、効率化や自動化、データを活用した新しい意思決定方法による価値創造プロセスなど、AIがもたらす未来の可能性についても解説頂きました。最後に、AIの倫理の問題や将来の応用について展望が紹介されました。

講演後は、参加者から多くの質問があり、大変活発な議論となりました。その中でAIという新たな技術の正しい認識が現在は不十分ではないかとの意見があり印象的でした。さらにIoT普及の問題点や日本のAI技術成長など

の問題点、大学における学生のAI教育に至るまで幅広く議論が展開されました。



4. おわりに

お忙しいなか、膨大な資料を準備し、ご講演を頂いた竹村大助氏に心より御礼申し上げます。今回は久しぶりにハイブリッド開催となり、技術交流会では、講師を囲み様々な意見交換がなされ充実した研究会となりました。

今回は、生産と人間部会企画の令和7年度第4回研究会です。**令和7年12月9日(火)**に開催されます。研究会主テーマは「技能伝承の原点 ～なにわで親子孫三代継承されている技～」です。講演は『「レイテンイチ」が遺言や！』～職人一家の技術継承～で、講師には赤坂金型彫刻所 三代目赤坂兵之助氏（大阪府なにわの名工、厚生労働省ものづくりマイスター）をお迎えします。会場は日本工業大学です。講演会後には工業技術博物館を見学します。なお、オンラインも準備し、遠方の会員や学生さんにも気軽に視聴できるようにする予定です。お忙しいことと存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。詳細は、生産原論専門委員会 HP をご覧下さい。
<https://spe-lab.mech.saitama-u.ac.jp/principle/pm-index.html>